

目標達成計画

作成日: 令和3年3月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 13	職員の異動や退職に伴い事業所理念・グループホームに求められる役割の理解に職員間の差が大きくなっている。	事業所理念・グループホームの役割・求められる介護の実現に向けて取り組む。	地域密着型サービスの基本的な考え方 事業所理念、グループホームの役割と 毎月、理解の深度を見ながら勉強会・話し合いの 機会を設ける。	12月
2	27 37 38 48	個別対応や余暇の過ごし方、過ごす時間について職員の意識に大きく関わっていると いと考えられる。	各職員が意識して時間を有効に使い(作り) 個別活動や余暇活動を実践していく。	常に個別活動や余暇活動を念頭に置き 準備や申し送りをして協力し合い 少しの時間でも活動する時間を設けていく。	12月
2	34	看取りや急変時の対応を全職員ができるか不安がある。急変時の対応の訓練・学習が しっかりとできていない。	全職員が看取り、急変時に適切な対応ができるようになる。	急変時のマニュアルの見直し。 また、定期的に勉強会を行っていく。	12月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。